

2026 年度 年間指導計画

5 歳児 モーセ組 担任：比嘉 エリコ

期		I 期（4 月・5 月）	II 期（6 月・7 月・8 月）
子どもの姿		○年長組になった喜びや期待が見られるが、中には緊張感や不安感を持つ子どもがいる。 ○基本的な生活習慣は、ほぼ身につけているが、保育者のことばがけがある場合がある。 ○戸外遊びを好み友達といっしょに活発に活動する。 ○年下の子の世話や手伝いをしようとがんばる姿が見られる。	○友達への関心が広がる中で、力関係や遊びに対する考えの違いから、ぶつかり合いながらも友達の思いやよさに気づくようになる。 ○生活範囲が広がり、活動が活発になり、危険な遊び方をする姿が見られる。 ○身近な自然に興味や関心を持ち、絵本を見たり図鑑で調べたりしている。 ○年下の子どもたちとの交流も多くなり、いっしょに楽しく遊んでいる。
ねらい	養護・教育	○ひとりひとりの欲求を満たし、快適に過ごすことができるようにする。 ○新しい環境に慣れ、気の合う友達とかかわりながら遊びや生活を楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、保育者と共に自分たちの生活を作り出す。 ○異年齢の友達の世話をしたり遊んだりしながらかかわりを持ち、親しみを持つ。 ○身近な動植物に触れたり、愛情を持って世話をしたりする。	○ひとりひとりが安心して自分の気持ちや考えを表しながら生活できるようにする。 ○友達とのかかわりを深め、思いを伝え合いながら遊びを広げる。 ○身近な動植物に触れ、見たり試したりして、その大きさや、美しさ、不思議さに感動する。 ○年下の子と生活や遊びを楽しむ中で、思いやりの気持ちを持つ。
	養護	○施設内の環境・保健に十分に留意し、快適に生活できるようにする。 ○ひとりひとりの子どもの気持ちや考えを受容し、保育者との信頼関係ができるようにする。	○梅雨や暑い時期の健康状態に十分に配慮し、水分補給や休息などを適切に対応する。 ○情緒の安定を図り、自分の気持ちや考えを安心して表し、安定した生活ができるようにする。
内容	教育（健康）	○戸外で積極的に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○園でのルールを知り、進んで守る。 ○危険なことがわかり、安全に気をつけて遊具や用具を正しく使う。	○夏の生活のしかたがわかり、自分で汗の始末や衣服の調節をする。 ○体と食べ物の関係に興味を持って、友達と楽しく食事をする。 ○戸外遊びに参加し、全身を使ってダイナミックに遊びを楽しみ、適切な休息の取り方に気づく。
	人間関係 環境 言葉 表現 聖書	●友達と生活する中で、決まりの大切さに気づく。 ●生活の中で、必要なことに気づいて自分でしようとする。 ●年下の子の世話をし、親しみを持つ。 ○身近な自然や動植物に関心を持ち、触れ、世話をしたりする。 ○自然物を利用して遊ぶことを楽しむ。 ●保育者や友達の話聞き内容を理解し会話を楽しむ。 ●自分の気持ちを相手にわかるように伝えようとする。 ○いろいろな素材を使って、感じたことを描いたり作ったりする。 ○友達といっしょに歌ったり、体で表現することを楽しんだりする。 ●静かに並び、礼拝に参加する。 ●喜んで讃美歌を歌う。 ●世界を創造された神様の偉大さを知る。	○自分の体に関心を持ち、健康生活に必要な習慣や態度、健康な生活のリズムを身につける。 ●異年齢の友達に、生活や遊びの中で優しくかかわる。 ●遊びの中での思いや感情のいき違いを通して、相手の気持ちをわかろうとする。 ○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、疑問に思ったことを試したり、調べたりする。 ○身近な動植物に親しみ、進んで世話をする。 ●友達と相談・提案してさまざまな遊びをする。 ○見たことや聞いたことをいろいろな素材を使って、工夫して表現する。 ○歌うことを楽しみ、曲を聞いたり、合わせて踊ったり、楽器を弾いて楽しむ。 ○絵本や童話、図鑑などを見たり、聞いたりし、想像することを楽しむ。 ●お祈りを進んでやろうとする。 ●喜んで賛美し、暗唱聖句を覚えその意味を知る。
援助配慮環境の構成		○年長になった喜びと不安に揺れ動く気持ちをとらえて、かかわりの中で安心感が持てるよう園の楽しさや生活を伝えていくようにする。	○子ども同士の気持ちのいき違い、葛藤を受け止め、子どもが自分で気持ちの切り替えができるよう援助する。 ○遊びの中で、基本的な動きや方法をさまざまに経験できるよう援助する。
家庭との連携		○園便りなどで子どものようすやクラスの雰囲気を中心に伝え、園と家庭が互いに情報交換しながら子育てができるようにする。	○夏の健康管理や生活リズムが乱れないように家庭と連携する。 ○子どもは、試行錯誤しながら育っていくようすを伝え、温かく見守りながら励ま
地域との連携		○育む会運動会への参加 ○園近辺の散歩 ○地域の保育園との交流	○地域保育園と交流の機会に参加したり、見たりして、親しみを持てるようにする。
食育		○さまざまな食べ物をみずから進んで食べる。 ○同じ物を食べ、味わいながら食事をするを楽しむ。	○食べ慣れない食品や嫌いな食べ物を食べようとする。 ○食事を共にし、友達とのかかわりを深め、思いやる気持ちを持つ。

期		Ⅲ 期（9 月・10 月・11 月・12 月）	Ⅳ 期（1 月・2 月・3 月）
子どもの姿		○友達といっしょに体を動かすことを好み、自分の目的を持ち、がんばろうとする気持ちの高まりを見ることができる。 ○生活経験が広がり、友達同士の会話も盛んで、言葉の表現が豊かになる。 ○好奇心や探究心が旺盛になり、身の回りの出来事や自然事象にふれ、変化に気づき感動したり、収穫を喜んだりする。	○もうすぐ小学校入学という期待を持ちながら自分たちの遊びを楽しみ、年長児らしい意欲的な行動が取れるようになっている。 ○自分たちで生活や活動の見通しが持てるようになる。 ○物事に積極的に取り組み、グループ同士で交流しそれぞれ友達と相談したり工夫したりして、活動をより楽しいものに発展させるようになる。
ねい	養護・教育	○ひとりひとりの気持ちや考えを理解して、受け止め、子どもの力が発揮できる活動ができるようにする。 ○戸外で体を十分に動かし、友達と共に遊びや生活をする楽しさを味わう。 ○身近な自然や事象を見たり、聞いたりして考えたり、感動したりすることを楽しむ。 ○異年齢の友達とかかわり、相手の気持ちを受け入れて遊ぶ。	○ひとりひとりの就学への期待や不安を受け止め、充実した生活を送ることができるようにする。 ○ひとりひとりが自分らしさを大切にし、互いを認め合い遊びや生活を進め充実する。 ○自分の思いや感じたことを豊かに表現し、いろいろな活動に取り組み成長を喜び合う。
	養護	○気温の変化に応じて、温度調節や換気に配慮し、安全で快適に過ごすことができるようにする。 ○友達といっしょにという気持ちが高まる中で、葛藤や欲求を理解し、共感したり、励ましたりする。	○ひとりひとりの健康状態を把握し、異常を感じたときは適切な対応をするとともに、子ども自身から訴えることができるようにする。 ○生活に必要な習慣や態度などが身につく、自信を持って生活ができるようにする。
内 容	教育(健康	○体と食べ物に関係に興味を持って、友達と楽しく食事をする。 ○戸外遊びに意欲的に取り組み、友達といっしょに遊びを発展させる。 ○病気の予防に関心を持ち、健康な生活に必要な生活習慣を身につけ、すすんで生活の決まりを守る。 ●グループの友達と役割を分担したり、力を合わせたりして遊びや生活を進める。 ●遊びの進め方を友達と話し合い、協力して進める。 ●身近な人々とふれあうことを楽しむ。 ○さまざまな用具、遊具を知り、遊びに生かす。 ○季節の変化に気づく。自然体験で自然の美しさ・厳しさを知る。 ●考えたことや思いを人にわかるように話す。 ○身近な生活の中で、想像を巡らせ、話したり、絵に描いたり、遊びに取り入れたりする。 ○さまざまな音色やリズムの違いを知り、友達といっしょに歌ったり、楽器を弾いたりして楽しむ。(メロディオン・打楽器) ●進んで聖書を開き、学んだ暗唱聖句を振り返る。 ●降誕劇を通して、イエス様の誕生の意味を理解する。	○体と食べ物を知り、何でも食べようとする。 ○寒い時期の健康的な生活に必要な生活習慣を身につけ、自分から進んで生活や行動にけじめを持つ。 ●クラスやグループの中で役割を受け持ち、目的を持って遊びや生活を進める。 ●異年齢の友達とのかかわりを深め、就学に向けても自信を持つ。 ●自分の目標に向かって努力し、積極的にさまざまな運動や遊びをする。 ○冬の事象に興味を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物のようすから春の訪れに気づいたりする。 ○自分たちの生活の場を皆で協力して作り出し、使いやすくしたり、整えたりする。 ●感じたこと、想像したこと、感動したことなどを伝え合う。 ●簡単な文字や数、量、図形などに関心を持ち、日常の生活に取り入れて使う。 ●友達との対話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地良さを味わう。 ○素材や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱う。 ○音楽に親しみ、感じたこと、考えたことを音や動きで表現する。 ○生活の中で、リズムカルな言葉をつかったり、言葉の楽しさや美しさに気づいたりする。 ●自分の感じたことをお祈りの中で表現することができる。 ●神さまの愛と恵みを知り、これまで守られたことに感謝する。
	人間関係	○ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら場面や機会をとらえ、子どもたちに必要に応じて伝えたり、クラスで考えたりする。 ○目的に向かって、考えたり工夫したりして充実感が持てるようにする。	○友達やクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取り上げたり、協同的に遊ぶことの楽しさや充実感が味わえるような機会を設ける。 ○冬の自然とふれあえるチャンスを大切に、試したり、発見したり考えたりする楽しさを十分に経験し、科学性を培える環境を工夫する。
環境の構成		○さまざまな行事を通して、子どもたちがたくましく成長している姿を保護者と共に実感し、喜び合う。 ○見えるところばかりでなく、見えない育ちを認め喜び合う。	○初めての入学を迎える保護者の不安がなくなるよう、子どもの成長を伝え、また学校の具体的なようすや、どんな準備をしたらよいかを知らせる機会を懇談会などを利用して設定する。
地域との連携		○運動会 ○ふれ合い消防広場 ○勤労感謝（消防・警察署訪問） ○秋の教育講演会 ○クリスマス会	○小学校との交流を図り、入学への期待感を膨らませる。 ○三育小学校へ体験入学。
食育		○自分の体に関心を持ち、健康のためには、いろんな食品が必要なことを知る。 ○給食調理をしている人がいることに関心を示し、感謝する気持ちを持つ。	○楽しく食事をするには、必要な決まりがあることに気づき、守ろうとする。 ○食事が楽しくなるような環境を工夫し、おいしく食べる。